

くらしupながの

「消費者の5つの責任」

- ・批判的意識をもつ責任
- ・環境への配慮責任
- ・社会的弱者への配慮責任
- ・連帯する責任
- ・主張し行動する責任

河内長野市消費者啓発受託事業
編集と発行

かわちながの消費者協会

河内長野市消費生活センター内

TEL 0721-56-2360

FAX 0721-56-0701



2025年消費生活関連10大トピックス

- ◆ **物価や米価の高騰** (NACS 発表資料より <https://nacs.or.jp/pr-magazine/>)
物価上昇が家計を直撃し、特に米の値段が大きく高騰しました。天候不順による収穫減や輸送費の増加、円安の影響が重なり、日常の食卓にも影響が広がったため、政府備蓄米の放出が行われました。
- ◆ **大阪・関西万博の開催**
4月13日から184日間にわたり、大阪夢洲にて開催されました。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、150カ国と25の国際機関などが参加しました。来場者数は2,900万人超となりました。
- ◆ **デジタル取引におけるダークパターンの拡大**
ダークパターンとは、ウェブ広告や通販サイトで画面上の不適切な表現によって、消費者を欺くデザインであり、SNSなどには多くのダークパターン広告が掲載されています。日本では抜本的な対策が待たれます。
- ◆ **カスタハラ防止対策の義務化と条例制定の広がり**
カスタマーハラスメントが深刻な社会問題となるなか、単なるお客様対応の問題ではなく、労務問題・経営問題となってきました。
- ◆ **長引く夏と全国的な猛暑**
温暖化による二季化で日本の四季崩壊が危惧されるようになりました。また、アパレルには「五季化」という概念が生まれ、従来の夏物を分化して、猛暑に対応する涼感のある衣服の商品展開などが始まりました。
- ◆ **高齢者を狙った「押し買い」の被害増大**
金価格の高騰により、貴金属を強引に買い取る「押し買い」被害が増加しました。また「住宅のリースバック」を執拗に勧誘されるトラブルが増えています。
- ◆ **「みんなで大家さん」の配当停止で、出資金返還を求める集団訴訟が広がる**
高利回りを謳う広告で約3万8千人から2000億円超の資金を集めてきた「みんなで大家さん」で配当禁止が相次ぎ、出資金返還を求めて集団訴訟する動きが全国に広がっています。
- ◆ **特殊詐欺とSNS型投資・ロマンス詐欺の被害増大**
国際電話で個人情報や金銭を狙う詐欺や、警察を装い捜査名目や個人情報を保護する等の理由で振込を迫る詐欺が増加しています。また恋愛感情を利用して送金させるロマンス詐欺も横行しています。
- ◆ **相次ぐ企業などへのサイバー攻撃**
ランサムウェア攻撃と呼ばれる、サーバー内部のデータがアクセス不能になる攻撃を国内の有名企業が受け、物流の混乱が起きました。背景には組織化された犯罪組織の存在が指摘されています。
- ◆ **リチウムイオン電池使用製品の発火事故多発**
スマートフォンやモバイルバッテリーなど、リチウムイオン電池を内蔵した製品による発熱・発火事故が相次いで報告されました。電池異常、粗悪品の流通や不適切な廃棄といった問題が背景にあります。

今から考えてみませんか？ “デジタル終活”

スマートフォンやインターネット上などにあるパスワードや有料サービスの利用状況などを、生前に整理しておきましょう。最近、高齢者本人が亡くなった後、利用していたスマホやデジタルサービスのIDやパスワードを分からず、遺族が契約内容の確認や解約をできないトラブルが急増しています。

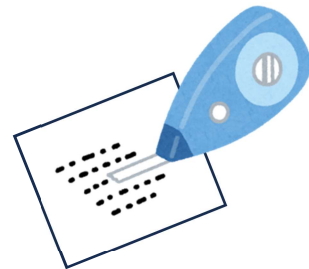
<遺された家族が困らないための「デジタル終活」対策>

① スマホの画面ロック(鍵)を外すパスワードを紙に書き残す

機種によってはパスワードを一定回数間違えると、自動で初期化されデータがすべて消えることもあります。スマホのパスワードのロック解除を業者に頼むと費用は高額で、データ復旧に長期間かかることもあります。

パスワードを書いた紙の保管

紙に記して簡単に見られないよう修正テープで覆い隠す。遺族はコインなどで削るとわかる。もし、元気な時に削られていたらパスワードを変更すれば安心。



② 利用しているサービス名やID、パスワード、契約日などを書き出し一覧にしておく

動画配信サービスや「〇〇放題」など利用しているサブスクリプション(定期利用サービス)は、解約をしない限り請求が続きます。一覧化することで、使用していなかったり、利用頻度が低いサービスがわかり、解約すれば無駄な出費が抑えられます。



③ 電子マネーはアプリを書き残す

スマホの画面を読み取るか、かざして支払うキャッシュレス決済サービス「〇〇ペイ」と呼ばれている電子マネーはスマホの中に残ります。何を使っているか記載しておけば残高確認も容易です。

④ ネット銀行の預金、ネット証券の金融資産、ネットで契約した生命保険等

本人の死亡を証明する公的な書類を提出して手続きすれば相続や解約などの対応をしてもらえる場合があります。ただし有料であったり、時間がかかることもあるので一覧にしておきましょう。

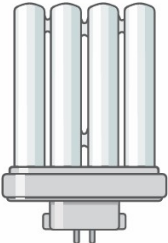
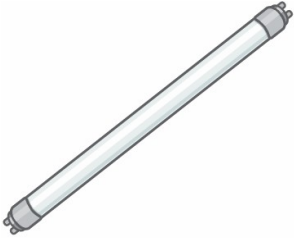
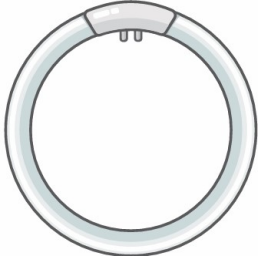
⑤ デジタル終活を行っていることを信頼できる家族に伝えておく

デジタル終活の中身すべてを伝えてなくても、「何かあったら、〇〇を見て」と伝えておくことも大切です。エンディングノートの活用も検討しましょう。故人アカウントサービスを活用すれば、死後にアクセスできる家族らを指名、登録することもできます。

一般照明用の蛍光灯は2027年末までに製造が終了

「水銀に関する水俣条約」第5回締約国会議において、水銀が人や環境に与えるリスクを低減させるため、2027年末までに全ての蛍光灯の製造・輸出入の禁止が決定しました。

これを受けて、日本でも蛍光灯は種類ごとに製造・輸出入が段階的に禁止されます。

蛍光灯の種類	コンパクト形蛍光灯	直管形蛍光灯	環形蛍光灯
			
製造・輸出入禁止の開始日	2027年1月1日	2028年1月1日	2028年1月1日

蛍光灯をLED照明に変更するには、「照明器具ごと交換する方法」と「既設の照明器具のまま蛍光灯をLEDランプに交換する方法」の2つの方法があります。

■照明器具ごと交換する方法

天井に引掛けシーリングなどの配線器具が取り付けられていれば基本的に工事は不要でLED照明器具に交換できます。天井に配線器具がない場合は、工事を依頼する必要があります。

■既設の照明器具のまま蛍光灯をLEDランプに交換する方法

取り付け手順の誤りや器具とランプの組み合わせの間違いなど、注意事項をよく確認しないでランプの交換を行うと、発煙や発火などの事故を引き起こすおそれがあります。

ランプ交換時の事故を防ぐための3つのポイント

必ず点灯管（グローランプ）を取り外す

- ① 蛍光灯には3種類の点灯方式があり、対応したLEDランプを選ぶ
- ② LEDランプのパッケージや取扱説明書に記載されている注意事項を守って作業する
- ③ ランプ交換後、異常がないか確認する

*日本照明工業会は、まるごと照明器具交換を推奨しています。（蛍光灯用の照明器具は蛍光灯と組み合わせる前提で製造しており、LEDランプは想定外）

また、照明器具は長期間使用すると経年劣化するので設置してから10年を「適正交換時期」15年を「耐用の限度」としています。

○2028年以降も蛍光灯の使用・販売・購入はできますが、在庫がなくなれば、入手は難しくなります。

○家庭内にある蛍光灯を調べて、どのように更新していくか計画的に考える必要があります。

○廃棄の際は、自治体のルールに従って分別・排出しましょう。

（河内長野市では、蛍光灯・照明器具は、もえないごみ・粗大ごみ）

ブロッコリーが「指定野菜」に追加！！

(令和8年4月1日より)

気候変動などにより、価格が乱高下しやすい国産野菜の持続的な生産を支えるために、「野菜価格安定制度」があります。著しい価格低落時には、農家経営の安定、次期作の確保、消費者への安定供給を確保する目的で生産者に補給金を交付します。この制度は生産者・消費者にとって大きな安心となります。

その対象品目に、消費量が多い野菜を「指定野菜」として現在14品目、指定野菜に準ずる野菜を「特定野菜」として35品目を定めています。(野菜生産出荷安定法)

<指定野菜>

キャベツ、きゅうり、里芋、大根、トマト、なす、人参、ねぎ、白菜、ピーマン、レタス、玉ねぎ、馬鈴薯、ほうれん草

★ブロッコリーを追加予定

<特定野菜>

アスパラガス、いちご、枝豆、かぶ、かぼちゃ、カリフラワー、かんしょ、グリーンピース、ごぼう、小松菜、さやいんげん、さやえんどう、春菊、しょうが、スイカ、スイートコーン、セルリー など35品目



<ブロッコリー>

- ベータカロテンを豊富に含む緑黄色野菜で、ビタミンや抗酸化作用があり、健康を維持するのに効果的です。
- 我が国に導入されたのは明治初期で、食生活に広まったのは1970年代です。ブロッコリーが対象になったのは、1990年(平成2年)と2022年(令和4年)と比較して、出荷数量が約2倍、一人当たり購入数量が540gから1,619gと約3倍に急増したためです。

④

食物アレルギー義務表示9品目に カシューナッツ追加 (令和7年度中に)

推奨表示にピスタチオ追加

○食物アレルギーとは、食物を摂取した際、身体が食物に含まれるたんぱく質等(アレルゲン)を異物と認識し、自分の体を過剰に防御することで、じんましん、嘔吐、呼吸困難などの症状を起こすことをいいます。

○健康危害の発生を防止する観点から、容器包装された加工食品について、特定原材料を含む旨の表示を義務付けています。

特定原材料(義務表示)
えび、かに、カシューナッツ、くるみ、小麦、そば、卵、乳、落花生
特定原材料に準ずるもの(推奨表示)
アーモンド、あわび、いか、いくら、オレンジ、キウイフルーツ、牛肉、マカダミアナッツ、ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、バナナ、ピスタチオ、豚肉、もも、やまいも、りんご、ゼラチン

*マカダミアナッツ、ピスタチオ、カシューナッツは、アナフィラキシーショック(血圧低下や意識障害を伴う重篤な症状)を引き起こす割合が高く注意が必要です。



あとがき

山があり、川が流れ、田畑を耕し、家畜を育み、自然の恩恵を受けながら暮らした懐かしい日々が思い出されます。

年月を経て、人類の努力により、科学技術等が進歩し、私たちの暮らしも大きく変わりました。

そんな今、令和の米騒動のなかで、人と自然が共生する里山の風景を守っていくことが、持続可能な社会につながるのではないだろうか・・・との思いが湧いて来ました。

